

全国に先駆けたPCB処理事業

～産業廃棄物の適正処理～



繁栄の光と影

PCB(ポリ塩化ビフェニル)は人工的に作られた油です。高度成長期に電気機器の絶縁油や熱媒体などいろいろなことに使われていましたが、続けて摂取すると体内に少しずつ溜まっていき、さまざまな症状を引き起こすことが分かっています。

このPCBは、昭和43(1968)年に起きた「カネミ油症事件」で広く知れ渡りました。この事件によって、昭和47(1972)年にPCB油の製造・販売は中止されました。

PCB油の製造等が禁止されたため、大量のPCB廃棄物が発生しましたが、地元住民の理解を得られないことから国内で処理施設が建てられず、危険な状態での保管が約30年間に及んでしまいました。この間、機器の紛失や不法投棄などによる環境汚染の進行等も心配される状況となってしまいました。

議論を重ねた処理施設受け入れ

国際的にもPCBによる地球規模の環境汚染が問題視されたことから、ようやく平成13(2001)年に締結された「ストックホルム条約(POPs条約)」において、令和10(2028)年までにPCBを全廃することが決まりました。同年、国内でもPCBに関する法律が制定され、国が中心となってPCBの処理体制の整備を行うことになりました。

実は、これに先立つ平成12(2000)年12月、国は国内で初めて北九州市内にPCB廃棄物処理施設を、設置することを要請しました。北九州市としては安全性が第一であり、かつ市民の意見を尊重することが大切だとあらゆる角度から検討を行いました。国内有数の専門家による「北九州市PCB処理安全性検討委員会」を設置したり、マスコミが驚くほどの情報を公開しました。「市民と委員の意見交換会」には約450人の市民が参加し、100回以上の市民説明会では約3,500人への説明も行き、市政だよりや市のホームページにもさまざまな意見が寄せられ、市議会でも徹底的に議論しました。

その上で環境省に提出した条件や要望について、環境省が施策を講ずると回答したため、翌平成13



©ていたん&ブラックていたん、北九州市



安全性検討委員会



市民と委員の意見交換会

(2001)年10月、PCB処理施設の立地が正式に決定しました。立地が決まった翌月には、市民や専門家により、施設の操業状況等をチェックする「北九州市PCB処理監視委員会」も設置しました。

2度にわたる期限延長と事業終了に向けて

こうして、平成16(2004)年に中間貯蔵・環境安全事業株式会社(JESCO)北九州事業所による第1期施設、平成21(2009)年には第2期施設が操業を開始し、岡山より西部の17県から集められたPCB廃棄物の処理が行われました。

処理事業は全国5か所で進められましたが、当初の計画よりも全国的に処理が遅れていたことを理由に、平成25(2013)年、北九州市は国から処理の拡大と期限の延長の計画受け入れを求められました。北九州市では再び検討を重ね、なおも厳しい条件を取り付け、受け入れを決めました。

平成31(2019)年3月に「変圧器」と「コンデンサー」の処理は終了したものの、「安定器」や「汚染物等」は掘り起こし調査が進んだことによって、全国的にPCB処理の対象量がより一層増えたため、国が約束した令和4(2022)年3月末に期限内での処理が完了できない見込みとなり、またしても令和3(2021)年に国から処理事業を2年間継続の受け入れ検討を求められました。

市民や議会からの意見を真摯に受け止め、北九州市は処理継続を受け入れました。その後、処理事業は計画どおり行われ、令和6(2024)年3月に処理事業を終了し、不要になった設備から順に解体撤去を行っています。



北九州PCB廃棄物処理施設



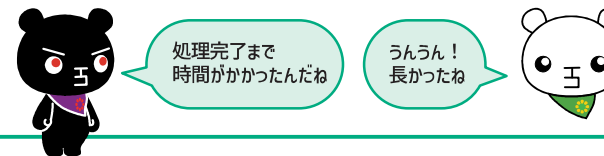
コンデンサー



安定器



変圧器



この人に訊いてみた

北九州市環境局 元局長 垣迫 裕俊さん

「北九州市PCB処理安全性検討委員会」の初回は一部非公開で行われましたが、環境局のPCB処理受け入れ担当に着任早々、第2回以降は全面公開で行いました。市民の理解を求めためには検討プロセスの透明性の確保を何より重要視する方がいいと方針転換したのです。その後も「いつでも、どこでも、誰にでも」を合言葉に、100回を超える説明会を行いました。さまざまな試練に見舞われましたがなんと乗り越えました。そして、複雑な思いの中、処理終了まで厳しく見守っていただいた地元住民の皆さんに心から感謝しています。北九州市の環境行政の原点は「人が嫌がるが公益上大事なこと、他所ができないことに率先して取り組むこと」であり、そこにこそ「環境首都」を標榜する意味と誇りがあると思います。また、誰にもできないことに取り組む姿勢にこそ、真価が発揮されると思います。